

令和3年10月改訂 コンクリート構造物品質確保ガイド【ガイド】2021 改訂資料

ガイドに示された PDCA サイクルに基づき、改訂を行った。なお、主な改訂内容は次のとおりである。

主な改訂内容① 本編第3節「施工状況把握チェックシート」の改訂

2007年以降、約13年間の運用で得られた気づきや現場での議論、関係者の理解度向上等をふまえ、施工状況把握チェックシートの改訂を行った。

(28のチェック項目中、8項目の内容改訂と6項目の字句修正、その他に様式の細かな修正)

主な改訂内容② 上記①に伴う関係箇所の改訂

「施工状況把握チェックシート」の改訂に併せて、その意図を正しく伝えるために、関係箇所の表現を見直し、施工上の留意点や工夫例を追加する等の改訂を行った(主に第3節)。

主な改訂内容③ 資料1「材料等によるひび割れ抑制対策」検討例の改訂

2021年3月までに提出された「コンクリート施工記録」を追加した最新のコンクリート施工記録データベースを用いて資料1を改訂した。なお、検討例の結果については、ガイド2020と変わっていない。

追加データは182リフト分であり、このうち橋台たて壁が21リフト、橋台胸壁が15リフトであった。橋台たて壁のグラフを図-1、図-2に、橋台胸壁のグラフを図-3、図-4に示す。今回追加データ(図中の赤色プロット)は最大ひび割れ幅が小さい範囲に概ね分布していることが確認できる。これらの傾向は今後も注目していく。

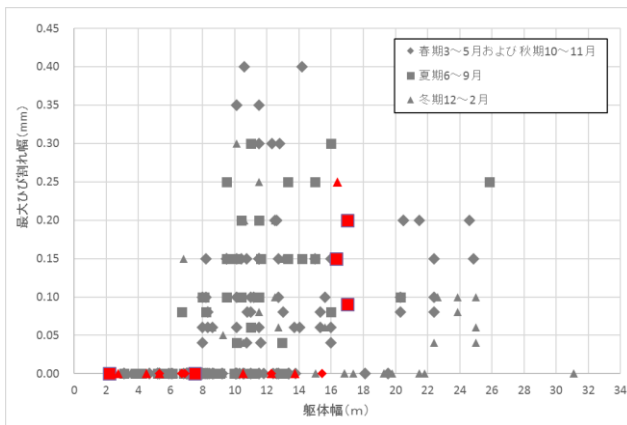


図-1 橋台たて壁における
躯体幅と最大ひび割れ幅の関係

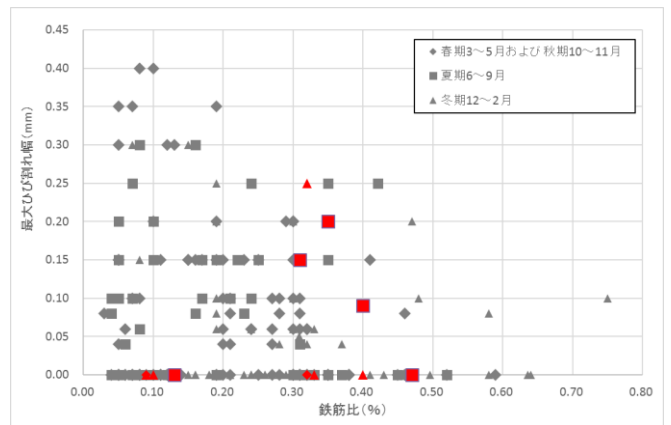


図-2 橋台たて壁における
鉄筋比と最大ひび割れ幅の関係

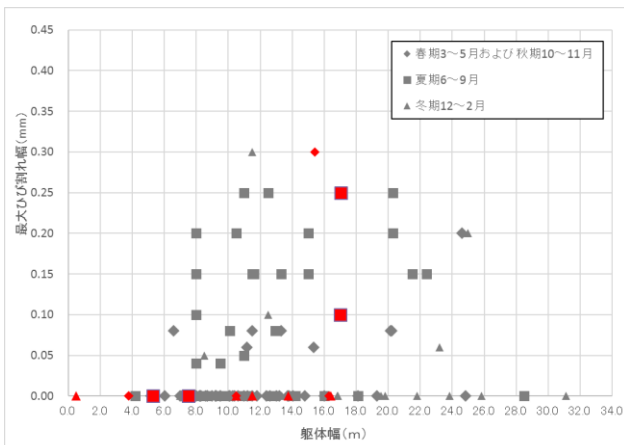


図-3 橋台胸壁における
躯体幅と最大ひび割れ幅の関係

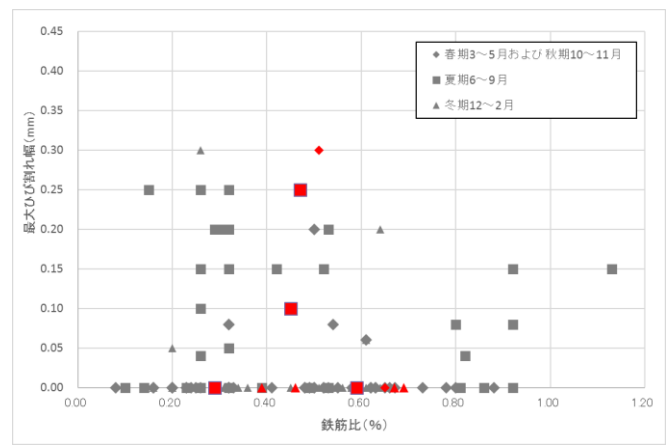


図-4 橋台胸壁における
鉄筋比と最大ひび割れ幅の関係